

平成26年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月9日

上場取引所 東

上場会社名 メディアスホールディングス株式会社

コード番号 3154 URL <http://www.medius.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池谷 保彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理統括本部長 (氏名) 野中 治男

TEL 03-3242-3154

四半期報告書提出予定日 平成26年5月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年6月期第3四半期の連結業績(平成25年7月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第3四半期	115,073	12.0	1,750	26.3	2,055	26.3	1,016	15.3
25年6月期第3四半期	102,744	2.5	1,385	48.3	1,627	44.6	881	72.6

(注) 包括利益 26年6月期第3四半期 960百万円 (△2.0%) 25年6月期第3四半期 979百万円 (100.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年6月期第3四半期	349.97	—
25年6月期第3四半期	309.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年6月期第3四半期	56,789	7,363	13.0
25年6月期	40,180	6,462	16.1

(参考) 自己資本 26年6月期第3四半期 7,363百万円 25年6月期 6,462百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年6月期	—	0.00	—	75.00	75.00
26年6月期	—	0.00	—	—	—
26年6月期(予想)	—	—	—	80.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年6月期の連結業績予想(平成25年7月1日～平成26年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	142,500	6.3	1,410	3.8	1,750	1.8	950	6.0	327.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 株式会社秋田医科器械店 、 除外 1社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年6月期3Q	3,031,356 株	25年6月期	3,031,356 株
② 期末自己株式数	26年6月期3Q	127,449 株	25年6月期	184,329 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年6月期3Q	2,903,699 株	25年6月期3Q	2,848,948 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成25年度末にかけて、消費税率引き上げ前の駆け込み需要により、個人消費及び企業の設備投資等が成長を持続させております。その一方、平成26年度は、駆け込み需要による反動減と物価上昇に伴う実質所得低下の影響もあり、政府による経済対策も打ち出されてはいるものの、不透明な状況で推移すると予想されます。

医療業界におきましては、平成26年度の診療報酬改定が決定し、医師の人件費などに当たる「診療報酬本体」を、0.73%引き上げることとなりましたが、この0.73%には消費税率引き上げによる医療機関の負担増への対応分0.63%が含まれているため、実質上の引き上げ幅は0.10%となりました。一方、薬価・医療材料は0.63%引き下げることとなり、消費税率引き上げ対応分の0.73%を差し引くと実質の引き下げ幅は1.36%で、これに本体を合わせた診療報酬全体(ネット)では1.26%マイナスとなりました。その他、医療提供体制の再構築や医療機関の機能分化、在宅医療の充実等を重点課題とし、その対応が盛り込まれております。

当社グループが属する医療機器販売業界におきましては、医療材料の償還価格の引き下げによる販売価格の下落や医療機関からの更なる値下げ要求、また病院経営コンサルタント業者の介入による利益率の低下が続いており、医療機器ディーラーを取り巻く経営環境は引き続き厳しさを増しております。医療機関からは物品管理、保守管理や業務管理等の役務提供を含めた複合的なサービスの要請が増加しており、医療機器ディーラーは医療機関の経営改善に因應するための各種サービスの提供や、経営の効率化並びにコスト削減に対する施策が不可欠であり、今後は業界再編が加速することが予想されます。

このような経営環境の下、当社グループは「地域医療への貢献」を経営理念に掲げ、取引先医療機関への医療機器・医療材料の提供のみならず、手術室業務支援ソフトウェア「サージレーン」や医療材料データベース・医療材料分析サービス「メッカル」の提案等、医療機関の経営改善に繋がる複合的なサービスの推進、最新の医療情報の提供を通じた高付加価値商品の提案営業に努めました。また、首都圏エリアにおける営業推進体制の強化に引き続き注力し、新規取引先獲得のための企画提案力や競争力の向上に取り組むとともに、平成25年7月に取得した株式会社秋田医科器械店におきましても、秋田県内の地域医療に貢献するため企画提案型の営業活動を進め、事業領域の拡大に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は115,073百万円(前年同四半期比12.0%増)、営業利益は1,750百万円(同26.3%増)、経常利益は2,055百万円(同26.3%増)、四半期純利益は1,016百万円(同15.3%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第3四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

①医療機器販売事業

医療機器販売事業では設備更新に伴う放射線機器、内視鏡や超音波診断装置等の備品販売が好調に推移し、消耗品については、提案型営業の推進効果もあり、新規取引の獲得が進みました。備品販売、消耗品ともに消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の高まりもあった結果、売上高は112,469百万円(前年同四半期比12.4%増)となりました。利益面では、内視鏡等診断機器の備品販売において利益が確保できたことに加え、消耗品について償還価格の引き下げによる影響や医療機関からの値下げ要求がありましたが、新規取扱商品の販売増加による利益の獲得により、売上総利益は10,672百万円(同10.3%増)となりました。

またセグメント利益(営業利益)は、4,174百万円(同21.1%増)となりました。

②介護・福祉事業

介護・福祉事業では、個人向け介護機器のレンタルは堅調に推移しましたが、介護・福祉機器の販売は低調となりました。この結果、売上高は2,603百万円(前年同四半期比2.9%減)、売上総利益は1,013百万円(同0.1%増)となりました。

またセグメント利益(営業利益)は、257百万円(同16.5%減)となりました。

(注) 当社グループのセグメントは、次のとおりであります。

医療機器販売事業……(医療機器販売事業)

国内の医療機器メーカー・代理店・商社等より仕入れた医療機器(備品・消耗品)を、国内の病院等医療施設に販売しており、当社グループの基幹となる事業であります。

(医療機器の修理及びメンテナンス事業)

当社グループが病院等医療施設に販売した医療機器の修理及びアフターサービス、病院等医療施設との保守契約に基づく医療機器全般のメンテナンスを行っております。

介護・福祉事業……国内の介護福祉機器メーカー・代理店・商社等より仕入れた介護福祉機器(備品・消耗品)を、国内の病院等医療施設及び一般個人に販売しております。また、介護福祉機器の一般個人へのレンタルを行っております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して41.3%増加し、56,789百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比較して48.4%増加し、49,558百万円となりました。これは主に、現金及び預金が4,595百万円、受取手形及び売掛金が10,396百万円、商品及び製品が829百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して6.6%増加し、7,231百万円となりました。これは主に、有形固定資産が102百万円、無形固定資産が349百万円それぞれ増加したことによるものであります。

②負債

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比較して46.6%増加し、49,426百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して55.5%増加し、46,343百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が10,671百万円、短期借入金が5,318百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して21.1%減少し、3,083百万円となりました。これは主に、長期借入金が1,001百万円減少したことによるものであります。

③純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して13.9%増加し、7,363百万円となりました。これは主に、資本剰余金が80百万円、利益剰余金が802百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年6月期通期の連結業績予想につきましては、平成25年8月14日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、新たに株式を取得した、株式会社秋田医科器械店を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,480,682	8,076,464
受取手形及び売掛金	23,865,806	34,261,870
商品及び製品	4,703,725	5,533,538
原材料及び貯蔵品	7,944	9,852
その他	1,350,828	1,694,538
貸倒引当金	△13,372	△17,640
流動資産合計	33,395,614	49,558,624
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	987,735	974,761
土地	1,620,849	1,660,324
その他(純額)	261,377	337,104
有形固定資産合計	2,869,962	2,972,191
無形固定資産		
のれん	509,041	596,676
その他	456,263	717,999
無形固定資産合計	965,304	1,314,675
投資その他の資産		
その他	3,016,216	3,009,937
貸倒引当金	△66,166	△65,678
投資その他の資産合計	2,950,050	2,944,258
固定資産合計	6,785,316	7,231,126
資産合計	40,180,931	56,789,751

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,273,856	35,945,101
短期借入金	2,701,776	8,019,793
未払法人税等	466,650	695,877
賞与引当金	—	382,830
その他	1,367,903	1,299,838
流動負債合計	29,810,187	46,343,440
固定負債		
長期借入金	2,906,038	1,904,556
退職給付引当金	580,355	618,836
資産除去債務	15,608	15,766
その他	406,064	544,043
固定負債合計	3,908,066	3,083,202
負債合計	33,718,254	49,426,643
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,018,862	1,018,862
資本剰余金	885,566	965,579
利益剰余金	4,415,281	5,217,971
自己株式	△238,779	△165,272
株主資本合計	6,080,931	7,037,140
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	381,746	325,967
その他の包括利益累計額合計	381,746	325,967
純資産合計	6,462,677	7,363,107
負債純資産合計	40,180,931	56,789,751

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)
売上高	102,744,202	115,073,689
売上原価	92,057,221	103,387,250
売上総利益	10,686,980	11,686,438
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	3,837,440	4,054,391
従業員賞与	1,084,735	1,112,970
退職給付費用	167,788	184,928
法定福利費	723,345	781,334
減価償却費	340,213	257,943
賃借料	685,274	676,040
業務委託費	644,406	718,153
貸倒引当金繰入額	2,161	—
その他	1,815,701	2,150,264
販売費及び一般管理費合計	9,301,067	9,936,025
営業利益	1,385,913	1,750,412
営業外収益		
受取利息	2,936	2,599
受取配当金	5,908	5,879
仕入割引	252,042	272,971
その他	58,204	92,954
営業外収益合計	319,092	374,404
営業外費用		
支払利息	73,614	61,068
その他	3,777	8,455
営業外費用合計	77,392	69,523
経常利益	1,627,614	2,055,293
特別利益		
固定資産売却益	718	3,557
投資有価証券売却益	1,170	47,351
特別利益合計	1,888	50,908
特別損失		
固定資産除却損	986	5,374
減損損失	22,917	—
関係会社株式評価損	—	167,452
特別損失合計	23,903	172,826
税金等調整前四半期純利益	1,605,598	1,933,376
法人税、住民税及び事業税	882,141	1,071,982
法人税等調整額	△157,751	△154,823
法人税等合計	724,389	917,159
少数株主損益調整前四半期純利益	881,208	1,016,216
四半期純利益	881,208	1,016,216

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	881,208	1,016,216
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	98,631	△55,779
その他の包括利益合計	98,631	△55,779
四半期包括利益	979,840	960,437
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	979,840	960,437

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年7月1日 至 平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	医療機器 販売事業	介護・福祉事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	100,063,704	2,680,497	102,744,202	—	102,744,202
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	100,063,704	2,680,497	102,744,202	—	102,744,202
セグメント利益	3,445,935	307,983	3,753,919	△2,368,005	1,385,913

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,368,005千円には、のれん償却額△191,265千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,176,740千円が含まれております。全社費用は、主に親会社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「介護・福祉事業」セグメントにおいて、取壊しの意思決定を行った建物等につき、帳簿価格を回収可能額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては22,917千円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年7月1日 至 平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	医療機器 販売事業	介護・福祉事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	112,469,909	2,603,780	115,073,689	—	115,073,689
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	112,469,909	2,603,780	115,073,689	—	115,073,689
セグメント利益	4,174,158	257,181	4,431,339	△2,680,926	1,750,412

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,680,926千円には、のれん償却額△237,363千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,443,563千円が含まれております。全社費用は、主に親会社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメントの区分の変更)

当社グループは従来、報告セグメントを「医療機器販売事業」及び「その他の事業」の2区分としていましたが、「その他の事業」を構成している「医療機器の修理及びメンテナンス事業」の業務が「医療機器販売事業」に付帯する要素が年々高まってきたこと、「その他の事業」を構成しているもう一つの「介護・福祉事業」の量的な重要性が増してきたことを踏まえ、第1四半期連結会計期間より「医療機器の修理及びメンテナンス事業」を「医療機器販売事業」に含めることとし、「介護・福祉事業」を単独の報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しております。